



みんなで考える「校長先生の通知表」 「振り返り」の大切さ

1学期の終業式では、畳2枚分ほどの巨大通知表を見せ「金井校長の通知表」を考えてもらいました。

◎心穏やかな校長だったか？

「校長先生は、いつもニコニコして、怒ったり慌てたりせず、みんなの話をやさしく聞いていましたか？」子どもたちの評価は「◎」（よかった！）それができたのは、健軍東小の子どもたちが、勉強や係活動、委員会活動などに一生懸命取り組んでくれたからです。みんなの頑張りに心から感謝します。

○スキップして行きたくなる学校をつくれたか？

「スキップして行きたい学校」は、みんなでつくるものです。1学期は、どうすればスキップで行きたい学校になるのかを「考えた」段階。2学期は、いよいよ実行の時。みんなのアイデアをどんどん実行していきましょう！ということで、ここは「○」

△「学校みんなの名前を覚えられたか？」

実はこっそり、全校児童の名前を覚える努力をしていました。でも、200人全員の名前を覚えるのはまだ難しくて…ごめんなさい！ということで、ここは「△」でも大切なのは、反省で終わらず、「どうすればできるようになるか」を考えること。2学期は、みんなの名前を覚えられるように努力します！

このように、振り返りは「できた」「できなかった」だけでなく、「これからどうすればもっとよくなるか」を考えることが大切です。それが、成長への第一歩です。子どもたちに、「振り返り」の大切さを伝えたいと思い話をしました。



特製の巨大通知表

地域とともに歩む学校づくりをめざして

本校は令和6年度より、「地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進にかかるモデル事業」のモデル校として取り組んでいます。保護者や地域の方々、関係機関の力をお借りしながら、子どもたちの学びと成長をより豊かにしていくことを目的としています。まさに「みんなでつくる『スキップで行きたい学校』」への挑戦です。

その一環として、先日「第1回拡大学校評議員会」を開催しました。今回は、4人の学校評議員に加え、6人の拡大評議委員の皆様、さらに東部まちづくりセンター、東部公民館、地域教育推進課の方々にもご参加いただきました。

会では、今年度の教育目標や子どもたちの学習・生活の様子をご報告し、授業もご参観いただきました。その後、「学校と保護者・地域・関係機関が、もっと気軽に頼り頼られる関係になるためにできること」について、活発な意見交換が行われました。

これからも、地域とともに歩む“開かれた学校づくり”を進めながら、子どもたちの健やかな成長をしっかりと支えてまいります。



CHECK! 学校のホームページは見ていただいていますか？学校だよりは月1回の発行です。日々の子どもの活動は学校ホームページで発信しています。ぜひ、ご覧ください。

浦島太郎校長のつぶやき



私の頼れるは教頭先生ですが、その次の相棒は高圧洗浄機です。「この汚れ、いったいつの？」と考えながら、学校のあちこちの汚れと格闘する日々。先日、ある先生が「少し学校が明るくなった気がします」と話してくれました。とてもうれしい言葉でした。ピカピカとまではいきませんが、変化を目にするたびに、なんとも言えない喜びがあります。